

受益者の皆さまへ

2025年4月11日

弊社ファンドの基準価額の下落について（4月11日）

下記公募ファンドの4月11日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	4月10日	4月11日	前営業日比	騰落率
世界バイオ医薬株式ファンド	9,435円	8,915円	▲520円	▲5.5%
世界シェールガス株ファンド	16,683円	15,521円	▲1,162円	▲7.0%

【為替】

為替レート	4月10日	4月11日	前営業日比	騰落率
米ドル/円	146.91	143.54	▲3.37	▲2.3%
カナダドル/円	104.22	102.90	▲1.32	▲1.3%

* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

【株価】

株式指数	4月9日	4月10日	前営業日比	騰落率
ナスダック バイオテクノロジー株指数	3,928.60	3,774.99	▲153.61	▲3.9%
S&P500 エネルギー株指数	631.53	591.14	▲40.39	▲6.4%

基準価額下落の背景と今後の見通し

4月10日(木)の米国株式市場は、大きく下落しました。

前日9日(水)の米国時間に、トランプ大統領が多くの貿易相手国に対する相互関税の上乗せ部分の適用を90日間停止すると発表したことで、米国株式市場は大きく上昇しました(NYダウ：前日比+7.87%、S&P500指数：同+9.52%)。

しかし、その停止対象国に中国は含まれず、逆に中国に対しては大幅な追加関税を賦課すると発表したことで、米中の貿易戦争深刻化に対する不安が残り、投資家センチメントの改善にはつながらず、翌10日の米国市場では前日の相場上昇がリスク回避としての利食い売りの好機との見方が台頭し、株式市場は大きく下落しました(NYダウ：前日比▲2.50%、S&P500指数：同▲3.46%)。

米国のバイオ関連株式やエネルギー関連株式も、相場全体の下落に歩調を合わせて売りが重なり、大きく下落して終わりました。

為替市場についても、引き続き、米中の貿易戦争に対する悲観的な見方から、リスク回避の円高が進行しました。

今後の見通しについては、相互関税に絡んだトランプ大統領の発言内容・発表タイミングが流動的であり、世界経済及び金融市場の先行きに対する不透明感を払拭することが難しい中で投資家センチメントが必ずしも改善していないことから、ボラティリティの高い相場展開がしばらく継続すると思われます。

<投資信託に関するご注意>

■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会